



第5回まつもと子ども未来委員会の報告

平成 28 年 7 月 1 4 日

第2期の第5回目まつもと子ども未来委員会は、平成28年7月10日（日）あがたの森文化会館で行いました。この日は、35人の委員のうち、小学校5年生から中学3年生までの17人の委員が出席しました。進行は、副委員長にお願いしました。

1 「松本のPRについて」学習・意見交換

この日は、「松本のPRについて」松本市^{かんこう}観光温泉課の担当者さんにお話をしてもらいました。

まず、松本市のことを教えてもらいました。松本市への観光客は年間520万人ほどいるそうです。松本市は、1907年に「松本市」として誕生し、来年で110周年を迎えること、合併により県内で一番面積が広いことなどを学習しました。



続いて、「3ガク都（岳都・学都・楽都）」のことも教わりました。特に、岳都について、日本の^{ひょうこう}標高の高い山ベスト20には、^{やりがたけ}槍ヶ岳など松本にある山が9つもランクインしているそうです。

また、松本の特徴として、温泉地が16箇所もあることを知りました。ちなみに、温泉地の多い都道府県の1位は北海道ですが、2位は長野県だそうです。松本への交通手段については、電車や飛行機がありますが、観光客の半分は関東から来ているので、市では東京で松本のことをPRしているそうです。

松本は、ロケ地としてもPRを行っているそうです。テレビ・映画・CMのロケ地になると、それだけで^{せんてん}宣伝になるからだそうです。例えば、映画の「^{オレンジ}orange」は、全国で270万人もの人が見たそうですが、縄手通りやあがたの森でロケをしているので、270万人の人が松本市の縄手通りやあがたの森を見てくれたことになるのです。

最後に、松本の強みを活かすために、市が実際にやっていることを教わりました。1つめは、飛行機の行先（福岡・札幌）でのPR、金沢市・札幌市・鹿児島市と交流するといった、^{せんてん}宣伝。2つめは、山岳観光の強化。3つめは、セイジ・オザワ松本フェスティバルのPR。4つめは、まちなか観光の推進。5つめは、インバウンド対応です。インバウンドとは外国人観光客の受け入れのことで、例えば、海外のスマートフォンが使えるように^{ワイファイ}WiFiを設置したり、飲食店のメニューを英語や中国語で作るための補助をしたりしているそうです。

続いて、今回のお話をもとに、グループごと意見交換・発表をしました。

	みんなからの主な意見など
ツツの方法など	◆ 昔からの行事（一か月遅れの七夕など）をイベントでPRする。 ◆ 松本の良いところを紙にまとめて、学都松本フォーラムで発表する。 ◆ 温泉のPRができていないので、ポスターやCMを作る。 ◆ 学校の宿題でポスターを作って、電車の中吊り^{なかづ}に貼ってもらう。 【観光温泉課担当者さんからのコメント】 作ってくれたポスターを観光温泉課に持ってきてくれたら、活用方法を考えてみたいと思います。ただし、東京の方は電車の中吊り^{なかづ}広告はだんだんなくなって、モニターが増えているので、モニターでの宣伝方法も考えていきたいです。
	◆ 観光客が松本城でストップして、他の場所にまで来てくれないので、他の場所もPRしたい。 【観光温泉課担当者さんからのコメント】 松本城の有料入場者は年間93万人です。無料で入れるところへの入場者を含めると、本当はもっと多いと思います。旧開智学校などといっしょに宣伝していきたいと思います。
	◆ 温泉を活用するために、「はしごチケット」を作る。 ◆ 松本で使えるマップやクーポン雑誌を、若い人や子どもの意見を取り入れながら作る。 【観光温泉課担当者さんからのコメント】 とても良い案だと思うので、アイデアがほしいです。 今は、100円バスや空港の搭乗券^{とうじょうけん}をつかって、クーポン・割引をやっています。
	◆ Wi-Fiをもっと整備^{せいび}したり、松本の案内アプリを作る。 【観光温泉課担当者さんからのコメント】 来月から、「orange」^{オレンジ}のスマホARが始まります。ARとは、縄手通りなどでスマートフォンをかざすと「orange」^{オレンジ}のキャラクターが見られたりするものです。また、観光情報の案内アプリについては利用を考え中です。
	◆ 全国で協力して、お城めぐりツアーを企画する。 【観光温泉課担当者さんからのコメント】 実は、前に全国のお城をめぐりツアーを考えたのですが、お城は全国各地にあって全部めぐるのはとても時間がかかってしまうのです。今は、5つの国宝（松本城・犬山城・彦根城・姫路城・松江城）をめぐりコースを考えています。
そのほ	◆ 交通マナーの悪さが、悪い意味で有名になってしまっている、大人に呼びかけてマナーを良くする。

- ◆ 家族全員がワイワイできる場所がすくないので、自然を活かしたテーマパークを作る。

【観光温泉課担当者さんからのコメント】

アルプス公園でネイチャリングフェスタという、自然とふれあうイベントをやります。ぜひ友だちを誘って行ってみてください。

また、観光温泉課担当者さんから、PR のことについて、テレビやポスター、旅行雑誌での PR も大事だけれど、今は、インターネット（口コミや YouTube など）の PR 効果が高いことを教えてもらいました。



次回の委員会は、7月24日（日）午後1時30分から3時30分まで、あがたの森文化会館で行います。次回は、市長提言に向けて、学習してきたことのまとめをします。